

令和7年度

業務継続計画 BCP

ありんこ親子/ありんこの森/おおきなかぶ

1. 目的：

本計画は、緊急事態（大地震、気候変動、感染症の発生等）においても、自社従業員およびその家族の安全を確保しながら自社の事業を適切に継続・運営することを目的とする。

2. 基本方針：

(1) 人命の安全（利用児・保護者及び職員等）

- ・利用児・保護者及び職員とその家族および関係者（取引先・来訪者等）の安全確保を最優先する。

(2) 社会的な供給責任

- ・災害等緊急事態の発生時においても社会的に必要とされるサービスの提供を目指す。

(3) 法人の経営維持

- ・保育を必要とする利用者と園児および職員を優先し経営を維持する。

(4) 地域等との協調

- ・地域の一員として、地域住民や近隣自治体との協調に努める。
- ・ボランティアの派遣・受け入れ等、また救助品等の配分、供給に努める。

(5) 二次災害の防止

- ・火災・爆発、感染拡大等 二次災害の発生を防止し、地域への被害拡大を防ぐ。

3. 推進体制

主な役割	役職	氏名	内容
危機対策本部長	会長	松本清資	総指揮
副本部長	理事長	中嶋悦子	総指揮
保育園内・指揮	園長・館長	松本清資、中嶋悦子、中嶋夢	
総務 - 非常食・生活用品	栄養士・主任	戸田由美	伊藤遥 食事、宿泊確保
- 被害状況確認		鈴木舞	設備・備品
- ライフライン確保		中村洋子	電気、水道、ガス、通信
人事 - 安否確認	主任	伊藤遥	職員、家族
- 医療対応		伊藤遥	医療機関、保健所、消防
業務運営 - 安否確認	副主任	高橋大輔	園児、保護者、伝言ダイヤル
		岡田綾夏	園児、保護者、伝言ダイヤル
		中嶋夢	学童児、保護者、伝言ダイヤル
- 避難・救助		高橋大輔	園児の安全

- 連絡・報告		高橋大輔	市役所、関連各所
- その他重要業務	会長	松本清資	外部対応、復旧・休止指示
法人外連携・地域連携	会長	松本清資	自治会、役所、近隣住民

4. ハザードマップ（別紙）

洪水、地震危険度・液状化、小中池決壊 特筆すべき危険はなし

5. 想定被災

想定される交通被害

- ・道路：県道・千葉－大網線（大網街道）不通、冠水、崖崩れ
- ・鉄道：JR 外房線、JR 東金線 不通

想定されるライフライン災害

- ・上水：停電による浄水場機能停止・断水、水道管破損による断水
- ・下水：浄化槽破損による機能停止、断水による機能停止
- ・電気：高圧線・変電所破損による広域停電、電柱倒壊による部分停電
- ・ガス：ガス管破損による不通
- ・通信：停電による電話・ネットワーク不通、携帯用アンテナ機能停止
- ・救命：救急・消防・警察 道路寸断による活動制限

6. 想定被災に当施設で必要と想定される対応力

日々の訓練 マニュアルの確認 備蓄品の確認 避難場所 保護者の把握（電車通勤）
の確認を全職員が把握し、対応できるようにする

7. 自施設での対応力

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力(一般)	大容量電池 →	復旧	→	→	→	→	→	→	→
電力(空調)	無	無	復旧	→	→	→	→	→	→
電力(照明)	ランプ	ランプ	復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	復旧	→	→	→	→	→
生活用水	バスタブ	バスタブ	バスタブ	復旧	→	→	→	→	→
ガス	ガスボンベ	ガスボンベ	ガスボンベ	復旧	→	→	→	→	→
携帯電話	大容量電池	大容量電池	復旧	→	→	→	→	→	→

インターネット	携帯	携帯	復旧	→	→	→	→	→	→

8. 継続事業の選定

優先する事業と必要人数（開園-9:00、9:00-16:00、16:00-閉園）

・保育を必要とする家庭を優先（災害等により帰宅できない） 閉園後、帰宅ができない園児は学童と合同で泊まって待機する。

・ 9 : 0 0 - 1 6 : 0 0 は 3 人体制にし、朝夕は 2 人体制で対応する。

（7 : 3 0 - 1 0 : 0 0、1 6 : 3 0 - 1 9 : 0 0 中村洋子 7 : 3 0 - 1 6 : 3 0 中嶋 8 : 3 0 - 1 7 : 3 0 伊藤 1 0 : 0 0 - 1 9 : 0 0 高橋又は鈴木舞）

・（積雪の場合）車通勤は遅番に変更し、朝は園長・中村洋子で受け入れを行う。前日に雪かきや凍結防止剤をまく。保護者には積雪時の危険性を伝えておく（スロープが滑るなど）

停止する事業

- ・子育て支援すくすくクラブ
- ・各種イベント
- ・給食

9. 事業継続を確実にを行うための課題と対策の整理

検討する部署	課題内容	対応策
本部	近隣ネットワーク	自治会・市の防災活動に参加
事業所	備蓄品の整理整頓	3月末、9月末に棚卸
事業所	バッテリーへの充電	毎月給料日に実施
事業所	断水時のトイレ	5月、11月に使い方練習

10. BCP（事業継続計画）のチェック

見直し：園長は新年度すぐに新しいメンバーを含めて内容の確認と見直しを実施

備品棚卸：主任主導で3月末と9月末に備品の棚卸を実施

避難諸経路確認：担任は毎月散歩時に避難所までの経路を確認

報告：上記は実施後すみやかに本部へ報告する

1 1. インフラが止まった時の対応

電気が止まった時影響を受けるものと対応策

影響を受けるもの 対応策

《冷蔵庫》・なるべく開け閉めは行わず、常温で保管できる食材で対応する。または、氷や保冷剤を使用し保存する。

《空調》 ・冷房の場合→窓をあけ、ロールカーテンを使って日差しを防ぐ
 ・暖房の場合→何枚か重ね着をし、電池式の石油ストーブの使用

断水した時に影響を受けるものと対応策

《給食》 ・紙皿等を使用し、洗い物をなくす。電子レンジ等で対応できるもので提供。

《トイレ（園児）》 ・トイレの上に袋を敷き、その上からペットシート2枚重ね用を足したら上の一枚を袋に入れて蓋つきゴミ箱に入れる。

《トイレ（職員）》 ・園児と同様に対応

ガスが止まった時に影響を受けるものと対応策

給食 ガスコンロを使用又は電子レンジ等で対応できるもので提供。

通信がマヒした時の対応策 玄関に掲示板を置いておくことを保護者に周知しておく、非常災害時緊急連絡カードにもその旨を記載している

パソコンが（水没、火災、落下などで）破損しない対策とした時の対応策

- ・パソコンの置き場所 耐震用のテープを貼り、落下防止対策をする。水没や火災の場合は2階に避難をさせるか外に持ち出すが、園児の避難を最優先させる。
- ・データのバックアップ
- ・手書きで対応できること、できないこと 園児の連絡先は緊急避難バックに入れておく。

衛生面の対応策

- ・汚物（排泄物、オムツ） 蓋つきのゴミ箱で対応し、ビニール袋で何重かで対応する。
- ・生ごみ 汚物同様又は、コンポストを使用する。
- ・消毒・感染症対策 水道が使えない場合は、ウェットティッシュを使用する。その後手指消毒。

1 2. 必要品 飲料・食品

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
安心米 白米	6 × 1	2025.8	調理室	中村のり子

	0 0 g			
わかめご飯	4 × 1 0 0 g 6 × 1 0 0 g	2025.8 2027.6	調理室	中村のり子
ひじきご飯	4 × 1 0 0 g	2025.8	調理室	中村のり子
きのこご飯	4 × 1 0 0 g 21 × 1 0 0 g	2025.8 2026.9～2027.2	調理室	中村のり子
五目ごはん	25 × 1 0 0 g	2026.3～2027.9	調理室	中村のり子
ご飯合計	36 人分	・子ども一人あたり 5 0 g だとして約 1 日分しかないの で、3 日分用意する		
クラッカー	2 管	2025.7		
飲料水	5 0 0 m l 2 4 × 2	2023.12	保育室台所	中村のり子
飲料水	6 本 × 2 リ ッ トル	2026.4	調理室	中村のり子

医薬品・衛生用品・日用品

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
消毒液	1 個	2	ぞう組保育室	
体温計	2 個			
カットバン	1 箱			
三角巾	1 個			
滅菌ガーゼ	8 枚			
テープ	1 個			
ネット包帯	2 巻			
氷嚢	1 個			

爪切り	1 個			
アルコール消毒 綿	1 2 枚			
手指アルコール	2 本 400 mℓ		調理室	
使い捨て手袋	3 箱 × 60 枚			
マスク	1 箱 × 6 0 枚			
ウェットティッ シュ	3 個 × 6 0 枚			
マスク	10 箱 × 1 0 0 枚		保育園 2 階	

その他

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
カセットコンロ	1 台		調理室	
ガスボンベ	4 本			
鍋	1 個			
しゃもじ	3 本			
トング	5 個			
ラップ	大 2 本 小 2 本			
アルミホイル	大 1 本			
ゴミ袋	4 セット			
スプーン	50 個			
フォーク	50 個			
紙皿	90 枚			
紙コップ	140 個			
輪ゴム	1 袋			
割りばし	30 膳			
アルミカップ	200 個			

マッチ	1 箱			
ライター	1 個		キッチン前収納	
ポリタンク	2 個		外倉庫	
携帯ラジオ	1 個		キッチン前収納	
懐中電灯	2 個			
ランタン	1 個			
乾電池	各 5 本			
救急箱	大 1 セット 小 1 セット			
軍手	1 組			
ロープ	1 本			
トイレットペーパー	2 セット		トイレ	
ナイフ	1 本		キッチン前収納	
のこぎり	1 本		外倉庫	
ボール	1 本			
ブルーシート	2 枚			
簡易トイレ	2 セット		救急バック	
紙おむつ	3 枚			
ペットシート	2 パック		外倉庫	
期限切れ水	2 4 本 × 2 リットル	2019.7	調理室	

1 3. 資金手当て

すぐに使える現金はいくら必要か（ATM は停電のため使えない想定）

教材費・消耗品費を使用（3 万円）

火災保険・地震保険は災害復旧を速やかに実施するために十分か

1 4. BCP 発動基準（どんな状況になったら BCP 発動するか）

地震 震度 5 以上、JR 不通、道路の通行止め（崖崩れ等）

台風 風速 30m/s 以上の予報により前日から、園舎前の安全が確保できない（電柱

の倒壊など)

感染症 園児、職員に感染者が出たとき、保健所から指示を受けたとき

雪 雪の重さで建物が倒壊した時

1 5. 対応拠点

避難場所と避難方法

- 第1 デッキ・おおきなかぶ学童保育
- 第2 ありんこ親子駐車場
- 第3 大網白里市立瑞穂小学校 または ありんこの森保育園

1 6. 安全と救急救命

安否確認の方法

- ・利用者 緊急メール、災害伝言板、携帯電話
お迎え後、緊急カードにお迎え氏名・時間を記入する
- ・職員 LINE、メーリング、携帯電話、災害伝言板

医療機関への搬送（救急車が呼べない）

- ・最寄りのクリニック：

橋本医院 0475-72-0134、みずほ台クリニック 0475-73-6000

駒込クリニック 0475-72-8800

1 7. 職員の参集基準

どのような場合に参集対象から外すか

徒歩圏内の場合は出勤してもらい、車通勤は道路の状況を見て各自判断、又は14のBCP発動基準に達し、危険と判断した場合。

参集の優先順位

- (1) 園長 みずほ台（徒歩）
- (2) 角谷 みずほ台（徒歩）内山 永田(徒歩)
- (3) 伊藤 金谷郷（車または徒歩） 中村洋子 駒込（徒歩）
- (4) 高橋大輔 おゆみ野（車又は電車）・鈴木亜弥 増穂(車)・鈴木舞・三枝 茂原（車又は電車）・高橋あすか・高橋亜依 東金（車又は電車）・畠山 土気（車又は電車）

1 8. 保護者への連絡と引き渡し

- ・緊急メール、携帯電話にて確認
- ・非常災害ダイヤルの使用
- ・上記か使用不可の場合は玄関に避難場所の場所を掲示する

19. サービス停止の基準

地震 登・降園時に安全の確保ができない、建物が倒壊する

風水害（台風など）登・降園時に安全の確保ができない、建物が倒壊する、園舎が水没、園舎前が水没し、園舎が孤立する場合

雪・寒波 積雪の場合は基本的に開園

感染症の場合 子育て支援課と相談

20. 継続する重要業務（優先順）

（1）園児を安全に預かる

21. 破損個所のチェック

- ・園舎、窓、遊具、駐車場周辺、スロープ、デッキ、外にある備品

22. 復旧対応

電力業者： 竹内電機

水道： 朝日工業 0475-72-4399

浄化槽： クリアライフ研究所 0475-72-1956

建物（屋根、床、壁、サッシ、ガラス、他）：大里綜合管理 0475-72-3473

23. 地域の連絡先

市・県の担当課 0475-70-0347(市)、 043-223-2596(県)

消防・警察 0475-72-3208(山武消防)、 0475-54-0110(東金警察)

医療機関 橋本医院 0475-72-0134、みずほ台クリニック 0475-73-6000
駒込クリニック 0475-72-8800

社協、自治会 0475-72-1995(社協)

建築会社 大里綜合管理 0475-72-3473

助けてくれるネットワーク

24. 利用者の連絡先

連絡先：携帯、自宅、メールアドレス、職場：面談時に確認

災害時緊急連絡カードを確認。メールアドレスはパソコンに入っているが、パソコ

ンが使用不可の場合、災害時緊急連絡カードに記載をするか検討する。